



第14回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイマジネーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。

記

日時：2017年12月1日（金） 15:00～18:00

会場：コングレコンベンションセンター ルーム7
（グランフロント大阪 北館 地下2階）

地図→ <http://www.congre-cc.jp/access/>

参加費：無料（交流会：1,000円）

主催：NPO法人 近畿バイオインダストリー振興会議・公益財団法人 都市活力研究所

共催：NPO法人 バイオグリッドセンター関西

後援：大阪医薬品協会

講演 I 15:00-16:00

「HIV インテグラーゼ阻害薬ドルテグラビルの創薬と開発の道程」

塩野義製薬株式会社 HIV Integrase Inhibitor

グローバルプロジェクトリーダー 藤原 民雄

ドルテグラビルは現在抗 HIV 薬キードラッグとして最も多く処方されている HIV インテグラーゼ阻害薬である。演者は1987年から米国 NIH でレトロウイルス DNA のインテグレーションメカニズムの研究を行い、1989年塩野義製薬へ帰国後、抗 HIV 薬創薬研究を開始した。その過程で、数々の失敗を経験しながら、それらを糧としてドルテグラビルの創薬・開発に成功した。その道程についてお話ししたい。

講演Ⅱ 16:00-17:00

「腸管 IgA 抗体による腸内細菌選別とその制御」

東京大学分子細胞生物学研究所 免疫・感染制御研究分野

教授 新蔵 礼子

近年、腸内細菌叢の異常 (dysbiosis) が多くの疾患の発症に関連すると報告されており、腸内細菌叢を改善することは健康維持に重要である。腸管に分泌される IgA 抗体は腸内細菌叢制御に関わるが、各 IgA 抗体が認識する常在細菌の分子など詳細は明らかではない。IgA 抗体と腸内細菌との相互作用はまだ未知の部分が多く、今後のさらなる基礎研究が必要であるが、私たちがクローニングしたモノクローナル IgA 抗体を腸内細菌叢改善薬として利用する可能性について議論する。

17:00-18:00 交流会・名刺交換会

【次回のご案内】

<第15回>

日時： 2018年3月8日(木) 15:00~18:00

場所： ナレッジキャピタル カンファレンスルーム (B02)
(グランフロント大阪 タワーB 10階)

地図： <https://www.kc-space.jp/accessmap/conference/#jump>

<プログラム>

15:00~16:00

「眼と iPS 細胞の未来」

大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経感覚器外科学 (眼科学)

教授 西田 幸二

16:00~17:00

「向社会性の脳内メカニズムとストレス」

情報通信研究機構 (NICT) 脳情報通信融合研究センター

脳情報工学研究室 研究マネージャー 春野 雅彦

17:00~18:00

交流会・名刺交換会

問合先：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107 (梅村、松村、大嶋)

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322 (味村、安藤)